

Celery

campus
communication

セロリ
No.35
2000

中村学園大学
中村学園大学短期大学部
◆
広報誌



- 卒業生からのメッセージ◎P 1
- 科学研究費補助金対象研究◎P 3
- 退職される方々からのメッセージ◎P 6
- 卒業生の近況報告◎P 7
- 廣畑富雄教授「県対ガン協会
40周年記念特別賞」を受賞◎P 8
- 福岡市都市景観賞を受賞◎P 8
- 介護等体験を終えて◎P 9
- 吉岐幼稚園20周年◎P 9
- 一般入試結果◎P10
- 大学院主催特別講演会◎P11
- 後援会地区連絡会◎P11
- 食物栄養学科講演会◎P11
- 児童学科講演会◎P12
- 管理栄養士国家試験
受験準備講習会開催◎P12
- 各種表彰◎P13
- 特別奨学生制度創設◎P13
- 中村ハル育英奨学基金規程改定◎P13
- 海外出張の記録◎P13
- 学園往来◎P13
- キャンパスこの1年の動き◎P14
- 教職員の動き◎P14
- 広報誌セロリの定期購読について◎P14

コラム◆

- 一冊の本「生きがいについて」◎P 4
- 「広く世界に目を向けて」◎P 6
- 「子どもの心」◎P 8
- 「健康生活のススメ」◎P10
- 元気なサークル◎P12

卒業生「思い出の写真」より

VOICE

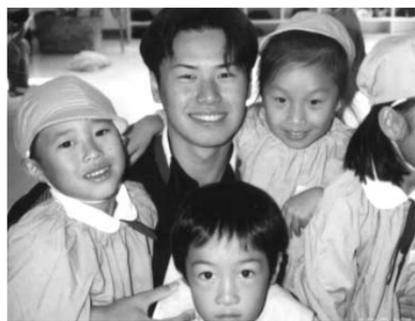
卒業生(3月卒業)からのメッセージ

今年もたくさんの学生が社会へはばたいていきます。
それぞれ学ぶことは違うけれど同じキャンパスで「何かを得た」その思いは同じ。
卒業にあたり、様々な思い出や在学生へのメッセージを聞いてみました。

すべてのものには意味がある

【短期大学部・幼児教育科】西岡 孝洋

「この幼児教育科での二年間は私にとって貴重な経験の宝庫でした。保育所、幼稚園教育実習でたくさんの子ともたちと出逢い、オーストラリア保育研修に参加して異文化の事実に触れることができました。そして多くの友人や先生方と出逢うことができた。私自身、大きな影響を受けることができました。」



実習の1コマ

私は四月から兵庫県西宮市にある聖和大学教育学部に編入学をして、幼児教育についてもっと深く学んでいこうと思っています。そして将来は子どもたちと一緒にあゆむことを共感する「ママ」の保育者を目指していきたくて考えます。

「きっといつかは…」あきらめずにがんばった

【短期大学部・家政科】松下 弘美

「すべてのものには意味がある。在校生の皆さんも、大学生活の中で経験する一つ一つのことの意味を感じ、その意味を考えてみてください。新しい世界が心の中に広がるはずです。」



入学式、桜の下で(左側)

ビジネス社会で活躍できる女性になりたいと思い、家政科を選びましたので、入学当初からワープロパソコン、簿記、秘書などの検定を積極的に受験し合格できたことは私にとって大きな自信となりました。また、厳しい就職戦線で悩んだ時もありましたが、「きっといつかは…」とあきらめずにがんばり、志望していた企業に就職が決まりました。不安もありますが学んだことを十分に活かしていきたいです。

笑いあり、感動ありの学生生活

【大学・児童教育学専攻】山下 久美子



NDAでの4年が終わりました(4年生・前段右)

毎日がとても楽しく、様々な経験ができた充実した学生生活でした。特にNDAというダンスのサークルで活動してきたことが一番の思い出です。人前で踊ることの楽しさや爽快感を感じることができたばかりでなく、良き先輩や後輩との出会い、思うようにならず自分との葛藤、笑いあり感動の涙ありと本当に得られるものが沢山ありました。これからこの学生生活で得た経験や思い出を胸に社会という新しい環境でがんばります。皆さんも悔いのない学生生活を送ってください。

夢だった「栄養士」に

【短期大学部・食物栄養科】外山 小百合

学生生活はあっという間に過ぎてしまいましたがいろいろな経験をしたいと思います。学園祭実行委員や、サークル活動を通じて、学校内外問わず沢山の友人ができました。また、アルバイトをしたり、いろんな所へ出掛けたりと、一期一会のように様々な人々の生き方を学ぶことができました。



中村ハル先生顕彰碑の前で

授業では多忙な時期もあり大変でしたが、今ではいい思い出になっています。今春から夢だった栄養士として貪欲な気持ちで頑張り、かつ管理栄養士を目指そうと思えます。一度きりの人生、楽しみながら後悔のない生活を送ってください。

最も充実した「卒論」

【大学・食物栄養学専攻】佐野 剛



野球部の仲間と(前段右から2人目)

四年間でいろいろな体験をしました。中でも卒論は学生生活において最も充実したものでした。これまでの自分の考え方や物の見方を大きく変え、専門家としての意識や知識を身につけることができました。このような貴重な時間や多くの助言をいただいた先生方や先輩に感謝します。また、学園祭の実行委員や野球、リトルリーグなどのサークルに参加しました。それらの活動を通じて、いろいろなことと楽しいことを共有した同級生、先輩、後輩に恵まれ、心に残る思い出が数えきれない程です。みなさんも後に振り返った時に充実していたなと思えるように、また学生生活で得られる財産を多く残せるようがんばってください。

たくさんの思い出づくりを

【大学・児童学専攻】山本 千恵

大学生活を振り返ると、長いようで短い四年間でした。私は四年の間に、いくつかの保育園・幼稚園・養護施設で実習をさせていただきました。それぞれの園で子どもたち、先生等たくさんの人たちと出会い、自分自身大きく成長することができたように思います。また、毎日の学校生活では授業がクラス単位で行われるため友達もたくさんで、一緒に勉強をしたり、笑ったり、泣いたり、支えあったりと本当に楽しく充実した毎日を送ることができました。



卒業旅行はハワイへ(写真中央)

みなさんも、大学生活の中でたくさんの人と出会い、いろいろな経験をして、たくさんの思い出をつくらってください。そして夢に向かってがんばってください。

寝ても覚めても修士論文

【大学院・栄養科学研究科】三隅 幸子



研究室にて

大学の勉強、寮生活、アルバイトなど様々な思い出がありますが、中でも大学最後のラクロアの試合は強く私の心に残っています。試合に勝つことはできませんでしたが悔しさよりも、自分ができることはすべてやりたという満足感と何ともいえないすがすがしさがありません。そして、修士論文を書き終えた今、同じような心境にあります。論文のテーマは、「糖尿病は脳海馬セロトニン放出を抑制する。自然発症糖尿病ラットおよび実験的糖尿病ラットにおけるメカニズム」の研究法を用いた検討。食べる時間、寝る時間を惜しんで机にかじりつき、寝ても覚めても修士論文の毎日でした。思ったら即行動するタイプですが、この二年間を通してじっくりと考え、結論つけていくというプロセスを身につけていくことが思っています。本当に大変でしたが、充実した糧になる時間を過ごせました。

ホームステイを体験

【大学・管理栄養士専攻】大山 愛子

私の大学生活は寮から始まりました。地元を離れ、大勢の人との共同生活は始めこそ戸惑いもありましたが、他の学部の人とも友達になれるので、大学とは一味違う楽しさがありました。オーストラリアでの語学研修にも参加しました。英語が通じることが不安でしたが、一ヶ月滞在したことで、アングラもよくなりました。会話もずいぶん上達しました。ホームステイ先では、子どもものしつけに厳しかったり、近所の人が風邪をひいたときにパイを焼いて持っていたりと、日常の出来事に刺激を受けたり、感動したり、いろいろな意味で良い経験になりました。



語学研修でオーストラリアへ

他にもサークルやアルバイトなど、大学時代には本当にいろいろな思い出があります。四月からは北九州市の公務員管理栄養士になります。大学で学んだことを生かして頑張りたいと思っています。



平成11年度 科学研究費補助金対象 研究の目的と内容



初等理科教育用語の 適正化・標準化に 関する研究

基盤研究(C)(2)



大学・児童学科
教授
梅埜 國夫
(代表)

初等・中等学校の教科書に出てくる理科教育用語の中には、用語自体が不適切である場合や、用い方が不適切である場合が散見される。また、理科と他の教科との間で、あるいは教科書ごとに食い違いが見られることもある。

このような用語の混乱は、児童生徒に余分な負担を与え、科学に関する理解を阻む原因を作っている。また、理科教科書中に不必要に多くの用語を用いることは、児童生徒に余分の暗記を強いる結果となり、青少年の科学離れを助長することにもつながっている。

そこで本研究では、小学校教科書に出てくる理科教育用語を抜き出して、各用語ごとに、科学的に正しい用語であるのか、子どもの発達段階に応じた適切な用い方が行われているかなどについて検討し、不適切な用語は、どのような用語で置き換えればよいかを模索する。

最終的には、初等理科教育標準用語集(案)を作成することを目指している。

高蓄積性PCB代謝物 メチルスルフォンの 生成機構とその毒性評価

基盤研究(C)(2)



大学・食物栄養学科
助教授
古賀 信幸
(代表)

近年ポリ塩素化エーテル(PCB)とその代謝物は、環境ホルモンとしての毒性が注目されている。そのうちある種の水酸化体は血中の甲状腺ホルモン結合タンパク質あるいは女性ホルモン受容体と強い親和性を有しており、その結果として内分泌系を攪乱することが知られている。

一方代謝物メチルスルフォンは母体化合物よりはるかに強いチトクロムP450の誘導能を有しているだけでなく、肝臓へ特異的に蓄積することが、最近明らかになった。このことは誘導されたP450により性ホルモン等が代謝され、内分泌系に乱れが生じることが意味している。しかしメチルスルフォンから本代謝物への酸化経路においてどんな酵素が関与しているのか全く報告がない。本研究ではこの酸化酵素が何であるかを明らかにしたい。さらにメチルスルフォンの肝臓への局在を決定する肝細胞内因子についても解明したい。

久山町高齢者の 栄養状態に及ぼす 栄養素摂取と社会的要因の 影響に関する研究

基盤研究(C)(2)



短期大学部・食物栄養科
教授
城田 知子

わが国では二十一世紀には六五歳以上の高齢者は人口の約二五%を占めるといわれており、その健康管理、疾病予防は重大な社会問題である。ことに、個人差の大きい高齢者の栄養状態を正確に把握し、適切な栄養管理を行うことの重要性は誰もが認めるところである。一九六一年に始まった久山町研究は、地域住民を対象とした心血管病とその危険因子の疫学研究である。我々は、その研究に一九八五年から参加し毎年栄養調査を実施している。

本研究では、先に一九八八年と一九九八年の十年間の追跡研究から高齢者の体位、体格、栄養状態、栄養素摂取等の加齢による変化について検討してきた。食事形態において、主食の米離れ、副菜の小食化、簡便化傾向が明らかになった。今回はこれら高齢者の食事摂取に関わる要因を加齢だけではなく、多くの社会的要因との関連を検討し、「健康長寿」実現に寄与したいと考えている。

食物アレルギーの種類による 消化管侵入経路の相似性と 多様性に関する超微形態学的研究

基盤研究(C)(2)



大学・食物栄養学科
助手
松隈 美紀

食物アレルギーは現在もなお増加する傾向にあり、その発症は私たちの食生活と深く関わっていることが知られています。その食物アレルギーを予防するためには、発症機序の初期段階を徹底的に解明する必要があります。そこでこれまでに食物アレルギー発症機序の初期段階における高分子物質の侵入経路に関して研究を行ってきました。

本研究では、これまでの研究成果を踏まえて、共同研究者(食物栄養学科 藤田教授・馬場助手)と共に食物アレルギーの種類によつて、消化管上皮層の侵入経路に相似性または多様性があるか否かを知る目的で、種々の動物性および植物性の食物アレルギーを用いて免疫細胞化学的超微形態学的手法により解明しています。さらに消化管の部位において食物アレルギーの侵入に差異があるかどうかについても詳しく解明しています。

地域の祭り と 民俗芸能の理解 保育者を目指す学生に内在する 伝統的音楽文化に基づいて

基盤研究(C)(2)



短期大学部・幼児教育科
教授
久富 さよ子
(代表)

日本の各地域には今日も様々な祭りが存在する。それらの祭りに参加し、そこで演じられる芸能に触れると、音楽が人の日々の営みの中から生まれたものであることがわかる。また祭りは、人に日本の伝統的な音楽に触れる環境をも提供している。そこでは大人ばかりでなく子どもが芸能を見事に演じたり、夢中になって見物している姿に出会う。

人は誰しも彼らの子ども時代から今日まで、地域に伝承された音楽文化(遊び、民謡、盆踊り、神楽、田楽、獅子舞、その他)を自ずと学んでいることが考えられる。保育者を目指す本学学生も、子ども頃わらべうたで遊び、地域の祭りに参加している。いわば日本の伝統的な音楽を内在させた存在であることが確認された(科研平成八、十年)。

地域の祭りやそこで演じられる芸能は本来人にとつて音楽とはどのようなものであつたかを問ひ、それらが創られてきたプロセスを伝えたい。このような視点は、保育においても、子どもの側からの音楽の在り方を考えるうえで必要である。本研究では学生に内在する音楽文化を意識させていくことを通じて、地域の祭りや民俗芸能に対する理解を深めていくことを目指している。

一冊の本

「生きがいについて」 神谷 美恵子 著



短期大学部・家政科
助手 大和 真理子

「あなたにとっての生きがいは何ですか?」と問われた時に、私たちは何と答えるでしょう?」

本書の著者である神谷美恵子氏は、「生きがい」という言葉の生みの親といわれ、精神科医としての生涯をらい病に苦しむ人々の精神衛生の向上につとめた人です。

この本は、普段私たちがとすると忘れてしまいがちな「生きがい」ということを平易な言葉で説明し、それについて考え、また新たな一歩を踏み出すきっかけを与えてくれるものです。そして、それは決して押しつけがましいものではなく、ごく自然な形で、自分が生かされていることに感謝させてくれました。また、人間は必ずしも常に何か生産的な存在でなくてはならないということはなく、その存在自体すでに意味がある、という大切なことに気付かせてくれました。

今、生きがいをなくして悩んでいる人にも、生きがいをもつていきいきと生活している人にも、あるいは、そのどちらでもなく、生きがいなんてことは考えたこともないという人が読んで、自分を生かしてくれている目に見えない何か大きな力について考えるきっかけになる本ではないかと思えます。

退職される方々からのメッセージ

コラム 広く世界に目を向けて



広く世界に目を向けて

9

短期大学部・家政科
教授 福田 靖

3年前、ロンドン ヒースロー空港待合室でのことである。航空機の時間待ちのため、通路ぎわのシートでうとうとしていた時、向こうから十名前後の、若い日本人女性のグループがやってきた。

と、その女性群、やにわに車座になって通路に座りこみ、タバコや飲食物を手に、嬌声をはりあげ談笑を始めた。髪を派手に染め、サングラスをかけ、濃い化粧、身にはTシャツとホットパンツ。そうこうするうちにその内の何人かは、鏡を取り出し化粧をし始めた。

国際空港のこととて人の通行が激しい。みんな振り返って、異様なこのグループに視線を向けるが、感受性があるのかないのか完全無視。

私はついにそのグループに近づき声をかけた。「椅子が空いているのにどうしてこの通路に座っているの?」「疲れました」「ヨーロッパでは、道路や通路に座る文化はありません」「東京ではやっています」「ここはヨーロッパです。東京ではありません」……。結局、シートに移ってもらったが、帰福して学生にこの話をすると、そういう人たちを「ジバタリアン」と称し、福岡にもいるという。

かつて、G.シュタインは「現代人は、四六時中、大量の情報を受け取る一方で、大量の常識を失っている」と喝破したが、彼女らの常識は世界の非常識。日本人が、世界に大きく雄飛せんとするためには、国際人としての常識、或いは規範力を身につけた、教養ある日本人でなければならぬことは、改めて言うまでもない。



大学院栄養科学研究科
教授 中村 元臣

楽しかった 皆様との出逢い

平成二年四月に本学に赴任してちょうど十年が経ちました。初期の頃は私のライフワークである心血管病発症機序について実験研究をしておりましたが、六年前に中村重一理事長より健康増進センター長を命ぜられ、栄養に関する特色ある研究を始めようになつてから、にわかには信じられなくなりました。一つは学生の皆様の中から水ランディアを専ら、現状の健康栄養度から数十年間におこるであろう疾病の予測がどの程度可能かというヘルスチ

ック・ユニットは大学研究を地域へ還元する意味で健康栄養クリニックを開設し、肥満の是正を継続させるにはどのようにすればよいのかという二つの課題を掲げ、道半ばにして後事を後任者にお願いすることになりました。ヘルスチックでは実数九九三人の心ある学生の皆様と出逢い本学学生の心の豊かさに触れ誠に楽しい日々でした。これらの横断調査については既に原著論文として国際誌に次々と発表されています。今後ヘルスチックに参加された学生一人ひとりに五年毎に「食事調査」とできれば、血液検査」を続けたいと考えています。世界にも類をみないこのような調査研究の種蒔きができましたので、今後皆様の御協力により継続していただき、多くの果実を実らせていただきたいと念願しています。必ずや東アジアの諸国にとってもこれらの調査結果は参考になるものと思います。皆様誠にありがとうございました。



食物栄養学科
教授 水上 茂樹

「情報のセンターとしての図書館」

四年前に図書館長をお引き受けしたとき、二つの目標を設定しました。一つは学生利用者の増加でした。カバンを持ち込めるようにして、自由インテンターネットを使うようにして、開館時間を延長しました。これにより、学生利用者数は約二倍となりました。他は図書館を内外の情報授受のセンターとするのでした。多くの図書館に先駆けてインターネットシステムを導入して図書館ウェブを作り、これも可能になりました。本学図書館蔵書は

もちろん九大、福大や多くの図書館蔵書を検索し、世界の主要な医学雑誌の論文抄録をアメリカ保健福祉省から無償で入手できるようにしました。ウェブは学内者だけでなく外部にも開かれています。貝原益軒の養生訓和俗童子訓、花譜、菜譜、大和本草、筑前国統風土記、三浦梅園の諸著作、山片蟠桃の夢の代、解体新書、医範提綱、倉密閑宗、福沢諭吉の、学問のすゝめ、中村ハル自伝、努力の上に花が咲くなどの全文や、エザリウスの解剖図などが利用できます。米国家栄養資料とその訳文や管理栄養士国家試験の第一回から最近までの十三回の全問題と回答は本学の教員および学生だけでなく、全国の栄養士養成施設で広く利用されるようになりました。現時点で本学図書館ウェブは電子図書館の代表的なものの一つとなり、昨年度はAVCCの公共good site賞をもらいました。サービスの向上やシステム改革をしてくだされた図書館員に感謝します。



大学・食物栄養学科
助手 石井 利直

日本型食品を代表する 野菜評価の新視点 生理機能性フラボノイド成分 との関連解明 奨励研究(A)

近年、野菜類を多用する日本の伝統的な食生活が見直されています。実際に、野菜類から生理機能性成分が見い出され、食品の新たな機能(第三次機能)として注目されています。植物中に存在するフラボノイド類からも発ガン抑制作用を初め生理機能を有するものが多数見つかっています。ところが、野菜や果物中の有用フラボノイド含量はほとんど明らかになっていません。フラボノイド類には同じ基本構造(アグリコン)を持つ親戚が多数存在していて、測定を複雑にしているのです。そこで、本研究ではこれらをアグリコンに分解・集約し(体内にはこの形で吸収されます)、日頃食へられている野菜類中の有用フラボノイド含量を明らかにします。ここで得られる有用フラボノイド含量に関する知見は、野菜類を評価するための新しい視点を与えてくれると同時に、日本食の優位性を支持するものとして期待されます。



大学・食物栄養学科
助手 金丸 知代

機能性食品成分 フラボノイド類の 生体内動態 奨励研究(A)

フラボノイド類は、日常に私達が飲用している緑茶や柑橘類などに多く含まれている植物成分の一つで、生物学的及び薬理学的な性質を有するポリフェノール化合物として一般によく知られている。最近、ある種のフラボノイド類が、肝臓で生体内の酸化を一手に担う酵素であるチトクロムP450の活性を増強あるいは阻害するといった報告が発表されてきた。しかし、フラボノイド類の経口摂取後の生体内動態に関してはほとんど検討されていない。これまで、いくつかチトクロムP450の関与を示唆した報告はあるが、まだ分子種の特定には至っていない。そこで本研究では、フラボノイド類を用い、骨格の構造の違いが実験動物における生体内動態にどう影響するか、水酸基の数の違いはどうか、さらに、メトキシ基を有するTangeretinやNobiletinの場合、水酸基のみの化合物と生体内動態がどう違うか調べる。

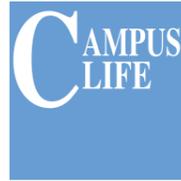


短期大学部・幼児教育科
助手 中島 憲子

体育授業研究における アクション・リサーチの 役割に関する研究 奨励研究(A)

「授業研究を促して授業減量」とまで皮肉に表現された現在の授業研究は体育分野においても同様である。その原因の一つには授業研究を行う研究者(研究現場)と教師(教育現場)との乖離が考えられる。そのパイプをつなぐには共同研究体制を組み合わせる(第三者)の視点ではなく同僚教師としてのスタンスで教室に入り込むことで、教室の複雑な社会的文化的文脈を引き取ることが可能となる。まさしく共同での授業づくりを必要としている。そこで、日々の授業における切実な課題や問題に対する改善のために絶えずplanning acting observing reflectingという円環的な実践を繰り返すことに特徴をもつアクション・リサーチに焦点を当て、教えと学びの「生きもの性」を捉え得る方法としての示唆を得たいと考えている。本研究では授業研究としてのアクション・リサーチの特徴や有効性が、同僚性を含んだ視点でどのような役割を担っているのかを検討する。

廣畑富雄教授、「県対ガン協会40周年記念特別賞」を受賞
きれいな都市空間福岡市都市景観賞を受賞
コラム 【子どもの心】



【子どもの心】

(32)

「もういいかい」

短期大学部・幼児教育科
教授 久富 さよ子

「もーいーかーい」。保育室から園庭へ飛び出した子どもたちの後を追っていた私は、この声に思わず足を止めた。声の主は2歳を迎えたばかりの大ちゃんたち数人である。園庭の端に建つあずまやの手すりから、身を乗り出し、秋晴れの空に向かって一斉に叫ぶ子どもたちの声に、私は何もいえず感動を覚えた。子どもたちは「もういいかい」が何を意味しているかをまだ理解してはいない。しかし、朝のさわやかな風と広い園庭、色づきはじめて木々、青い空が広がるこの空間に子どもが身を置いたその時に、彼らの内面に生じた心の動きを表わすとしたら、「もーいーかーい」だったのだろう。そして、彼らの「もういいかい」は私の心の扉をノックし、開かずにはいられないものを伝えていた。次の瞬間、私も空に向かって「まーだだよー」と全身で叫んでいた。

それから数日後、私は家の近所を散歩していた。そのそばを久大線が走る。久大線の土手には、一面にすすきが夕日を浴びて茜色に染まっていた。どこからか子どもたちの笑い声に混じって「じゃんけんぼん」が聞こえてきた。そのうちに声は「もーいーかーい」に変わっていた。続いて別の子どもが「まーだだよー」とこたえた。どうやらまだ「まー」をのぼすことが難しいらしい。夕方の空気はやや肌寒い。あたりが夕日に染まる頃、私にもかつて覚えがある同じような光景の中で、子どもが自分たちの肌に最もあった遊びをごく自然にはじめるとしたら、この「もーいーかーい」と「まーだだよー」のやりとりではないだろうか。

もしかしたら子どもは、彼等が生まれるずっと前から、限りなく繰り返されてきた「もういいかい」に込められた人の思いや行為の数々を、心の奥深いところで、直感的にとらえているのかもしれない。

なお、十月十五日の記念式典では、廣畑教授による「食物・栄養とがん」というテーマで記念講演が行われた。



廣畑富雄教授、
「県対ガン協会40周年記念特別賞」を受賞

昨年十月、廣畑教授に県対ガン協会特別賞が授与された。

福岡市都市景観賞を受賞!!

心うるおす美的空間

中村学園大学
正門周辺が、九十九年度、福岡市都市景観賞を受賞した。

この賞は、都市空間を演出する優れた建物や企画などを表彰するもので、十三年前に創設され、市民から対象物件を募集して選考されている。

今年度は、本学のほか、中央区大名のキム・レイスや中央区大濠公園の福岡簡易保健事務センターなど八件が選定された。



卒業生の近況報告

グランドサービススタッフ

「社内業務以外は全て英語。コンピュータとにらめっここの毎日」



杉本 元美さん
(短期大学部・家政科 平成八年卒)

私は四年前に家政科を卒業後、福岡空港国際線のグランドサービススタッフとして働いていました。仕事内容は主にチェックイン(搭乗手続き)、ゲート(搭乗案内)、到着便担当に分かれています。

会社(九州国際サービス株式会社)は、日本航空の子会社です。日本航空の制服を着て仕事をしますが、他にも外国人社社のためチェックインには世界各国のお客様がいらっしやいます。



このチェックインを陰で支えているのがDEPARTURE CONTROLLERです。これ機内食の搭載数の管理やカウンターで速やかに手続きが行えるように座席管理をしています。

次にゲート業務では、定期的に飛行機を出すために円滑にアナウンスを行わなければいけません。お客様の中には、お一人旅や車椅子を利用される方がいらっしやいます。その際に

は必ず私たち職員がお座席までご案内し、到着地でもお手伝いができるように海外へメッセージを送っています。

到着便については、事前に海外より搭乗者数や飛行機の機種、到着予定時刻などのメッセージが入りますので、その時間に合わせて到着ゲートに向います。外国からのお客様がスムーズに入国できるよう入国書類の記入もれがないか確認したり、飛行機が大幅に遅れた場合には乗り継ぎのお手伝いをします。また、荷物が未着の場合には書類を作成し至急海外へメッセージを送り荷物を探したりしています。

このように国内だけでなく海外とのやり取りがほとんどなので英語は不可欠です。職場では、社内業務以外は全て英語。他の国のスタッフとメッセージのやりとりをし、コンピュータとにらめっこです。

業務を大きく分けると三つですがこれら全てを統括しているのがデスクといえます。常に出発・到着のデータを集め、無線機と外線電話、内線電話を取りながら仕事をしています。精神的に負担の多い業務ですが、とてもやりがいのある仕事です。飛行機を定刻に出すために社員全員が一丸となって、また接客のプロとして働いています。

今思えば、家政科在学中に英会話や海外研修などで



外国の方と出会ったこと、ゼミで世界各国の生活や文化を勉強したことで、海外に大変興味を持ち国際的に視野を広げることができたからだと思います。

仕事でも日本以外の国の人たちと一緒にできて良い経験になりました。

この記事を読んで、グランドサービススタッフまたは航空業界に興味を持っていただけたら嬉しいです。国内にとどまらず海外にも目を向けて色々なことをTVや本などで吸収してください。

英語や何か一つでも自分に自信の持てるものを身につけて欲しいと思います。何事にも「チャレンジ」ですよ。



健康生活のススメ

33

大学・食物栄養学科
助教授 野村 秀一

ヒトの腸の中には百種類、百兆個という数の細菌が住んでおり、腸内フローラと言われています。その中にビフィズス菌を代表とする善玉菌とウエルシュ菌を代表とする悪玉菌があり、そのバランスがヒトの健康状態に大きな影響をおよぼすこと、食物成分によってそのバランスが変動することが明らかになっています。以前（独身時代）、食事内容によって、自分の便にどのような変化が起こるかを知りたくて、1週間、毎日肉類をたくさん食べ、穀類や野菜を殆ど食べない時と、逆に、肉類を食べず、穀類と野菜をたくさん食べたときの排便回数、便の色、臭い、量などを比較したことがあります。肉類の時には回数と量は減り、臭いはとてもひどく、色はどす黒く、べっとりした感じの粘便で、便器の上に張り付いて水を流しても便器から離れない状態でした。一方、穀類と野菜の時には回数は増え、臭いはあまりなく、色は茶黄色で、形はバナナ状をしており、便器の水に浮いていました。これらは、蛋白質や脂肪を多く摂取したため、ウエルシュ菌などの腐敗菌が増加し、腸内の腐敗が進み、腐敗産物が産生されたこと、また、食物繊維やオリゴ糖などの摂取が多いために、腸内のビフィズス菌などが増加し、腐敗菌の増殖を抑え、腸内浄化が進んだこと、によると考えられます。それ以来、私はお腹の中に住んでいる細菌の中で善玉菌たちが元気よく育つようにと、毎日、欠かさず食物繊維とオリゴ糖を含む食物を食べています。

一般入試結果

平成12年4月入学生的一般入試が行われた。

少子化で、他大学の志願状況が厳しいなか、大学は志願者が大幅に増加、短期大学部も好調な傾向を見せており、中村学園大学の人気の高さが伺えた。

また、平成12年4月から開設される流通科学部も多くの志願者をおよぼし、志願倍率は8倍以上になるなど、受験生にとって待望の学部だったということが伺える。

大学、短期大学部の志願、受験、合格状況は次のとおり。

【中村学園大学 流通科学部】

学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
流通科学科（前期）	75	613	609	301	2.02
流通科学科（外国人留学生試験入学）	10	12	11	2	5.50

推薦・現地・試験入学選考で計10名を募集

【中村学園大学 家政学部】

学 科	専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
食物栄養学科	食物栄養学専攻	25	93	93	41	2.27
	管理栄養士専攻	50	457	452	98	4.61
児童学科	児童学専攻	25	239	236	61	3.87
	児童教育学専攻	25	376	374	106	3.53

【中村学園大学 大学院】

学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
栄養科学研究科	一 次	6	2	2	1	2.00
	二 次		1	1	0	

推薦・一次・二次試験で計6名を募集

【中村学園大学短期大学部】

学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
食物栄養科	50	309	304	88	3.45
家政科	40	110	109	99	1.10
幼児教育科	50	357	355	92	3.86

*競争率は、受験者数/合格者数（小数点第3位以下を四捨五入）

介護等体験を終えて 一番大切なのは、何かを 伝えようとする気持ち

大学・児童教育学専攻 二年 高三瀧 綾

平成十年から介護等体験制度がスタートし、私たち児童教育学専攻二年生は、小学校の普通免許状を取得するため七日間の介護等体験に参加しました。

私は、まず五日間、特別養護老人ホームで、食事介助、入浴介助などを体験しました。施設の仕事は多忙ですが、職員の方は適切で優しい対応をされ、常によりよい介護を念頭に働かれています。

その感動的な姿は、私自身高齢者に何を援助できるかを考える良い機会となりました。高齢者の「ありがとう」や「また明日ね」という言葉に、かえって自分が元気づけられ、相手の立場や気持ちに立つて考える人間になればと強く思いました。

残りの二日間は、高等専門学校に行き、教育の原点とも言われる特殊教育に触れてきました。耳が不自由なため授業のチャイムをパトライト（赤） 休み時間 緑 授業中（）で知らせるなど、生徒に対して配慮がされていました。今回一番不安だったのが、コミュニケーションでしたが、手話ができなくとも大きな口とゆっくりとした動作で話せば、お互いを理解し合えることができたと感じています。

一番大切なのは、何かを伝えようとする気持ちだと気づかせてくれました。障害を吹き飛ばすかのような生徒の明るさは、とても印象的で今でも心に焼きついています。

この体験で得たものを活かし、困難な問題を抱える教育の現場で、人の痛みがわかる子どもを育成していきたいと思えます。お世話になった皆様には、大変感謝しております。



20周年記念キャラクターマーク

吉岐幼稚園20周年

キャラクターマーク誕生!!

中村学園大学付属吉岐幼稚園は、創立二十周年を迎え、昨年十一月二十日（土）に記念式典並びに祝賀会が催された。

午前十時三十分から園内で行われた式典には、来賓、学園関係者、園児らが参加。園児が元気にお祝いの言葉をのべ、終始明るい雰囲気で行われた。

また、記念事業として、吉岐幼稚園二十周年キャラクターマークを園児の家庭に募集。応募総数、百二十四作品の中から、ノミネート六作品を選定した。

父母と園児で決めた最終デザインは、写真の通り。

すくすく伸びてほしいという願いを「ひまわり」で、そしてたくましさや力強さを「葉」で表現した、すばらしいキャラクターマークが誕生した。



児童学科講演会
管理栄養士国家試験講習会開催
元気なサークル



大学院主催特別講演会
後援会地区連絡会
食物栄養学科講演会



■ 大学院主催特別講演会

本年度の特別講演会は、平成十一年一月十一日、大講義室にて中村元臣教授と水上茂樹教授にお願いしていた。例年外部の方に講演をお願いしており、例えば昨年度は「食生活とアレルギー」疾患について京都大学小児科の古庄教授にお願いした。しかしこの度両先生が退職されるので、最終講義の意味を含めて講演をお願いした。お二人とも長く九大医学部の教授をされ、それぞれ循環器内科及び生化学の分野で高名な方である。演題は中村教授が「自分の健康は自分で守ろう」、水上教授が「江戸時代における自然科学と医学の発展、電子図書館建設の二つの試み」であった。非常に立派なそして分かりやすい講演であった。多くの学生も私語一人する者もなく講演に聞き入っていたのが印象的であった。内容を限られたスペースで記すのは難しい。中村教授は、本学学生さんの協力を得て大々的に行っているヘルメックスにふれ、世界的に重要な研究結果が得られたこと、また学生さんの協力が非常に高いことに感謝された。



中村 元臣 教授

水上教授は、図書館長として押し進めてきた本学の電子図書館つまりウェブを通じて読むことができる多くの書物(例えば「貞原益軒」)について述べられた。なお学生さんに直接関係があるものとして、管理栄養士国家試験問題や解答もある。お二人とも、本学に素晴らしい贈り物を残してくださいと感謝している。

(文責/大学院研究科長 廣畑 富雄)

■ 後援会地区連絡会 就職活動の体験談も好評

平成十一年度の後援会地区連絡会が二月二十日から三月五日まで本学を含め九州内の八地区で開催された。連絡会では、教育・研究の近況報告とともに、在学生の学修・生活・就職状況に関する全般的な報告、教員による個人面談及び学生による就職活動の体験談などが行われた。この連絡会は、より良い教育効果をあげるために、学園関係者と学生及び保護者が互いに連携をとり、協力し合うことが必要であること、また、保護者からの意見も本学の教育研究にできる限り反映していきたいとの考えから開催されている。

地区	開催日	会場
佐賀	2月20日(日)	佐賀東急イン
熊本	2月26日(土)	チサンホテル熊本
大分	2月26日(土)	大分第一ホテル
鹿児島	2月27日(日)	岩崎ホテルザビエル450
宮崎	2月27日(日)	宮交エアラインホテル
福岡	3月4日(土)	本学10階・大講義室
北九州	3月5日(日)	チサンホテル小倉
長崎	3月5日(日)	ホテルニュー長崎

■ 食物栄養学科講演会 「糖尿病医療チームの大切さ」

平成十一年一月十九日(月)午後一時から大講義室にて、食物栄養学科の三、四年生を対象に、糖尿病研究の第一人者であり、また二十一世紀の管理栄養士等在り方検討会委員でもあらわれる京都大学大学院医学研究科内科病態代謝栄養学教授 清野裕先生にご講演をいただきました。

「糖尿病医療チームの大切さ」と題され、糖尿病研究の最近の話題とそれを治療する医師等、特に管理栄養士の果たすべき役割について臨床の現場からみた栄養士への要望と期待するものを情熱をもつて話された。

糖尿病には現在七〇〇万人が罹患し予備群が一四〇〇万人にのぼり、糖尿病性腎症をはじめとする合併症の急増が社会問題となっている。今こそチーム医療が重要であり、医療現場における栄養士の位置づけについて、京大病院における病棟別主治栄養士制度を紹介された。また、国家資格をもった専門医の手助けをする日本糖尿病療法指導士制度の発足に伴う管理栄養士の活躍の場など最新の医療体制についても話された。

最後に、臨床栄養士制度など栄養教育の専門性の重要性や、その望むこととして医師の要望に対応できる能力をもった応用力のある全人的な栄養士に育って欲しいと結ばれた。学生の反応は大きく、多くの質問も出され、管理栄養士を志す学生への将来の示唆を与えていただいた。

(文責/大学・食物栄養学科 教授 広井 祐三)

■ 児童学科講演会 「遊びは定説です」



小田切 直人 氏

大学児童学科三年生を主たる対象とした恒例の「児童学科講演会」が一月二十七日大講義室で開催された。講師は、遊び塾ありギリシアの長小田切直人氏(写真)で、遊びは定説です」という題でお話いただいた。

小田切氏はもと小学校教諭で退職後に子どもの遊びを創造する遊び塾を発足させ、子どもたちの自然体験や国際交流を推進する活動をな

ら始まる。

講演は「遊びは文化です」から始まり、教員時代の体験をまじえて社会問題を抱え込んだ現場における責任追求の増大による刺激の低下に対する問題提起がなされた。学校の補完組織として設立した遊び塾の活動については具体的な話の中から、高刺激で感動を与える活動、参加者全員が充実感を持つ大切さ、国における国民性の違いが話され、最後に、教員を目指す学生たちに「子どもたちが喜ぶのを見て喜ぶような仕掛け」をサビレスできる教員になってほしいというメッセージが託された。

なお、本講演会は広く解放されているので、今後とも多数の御来聴をお願いしたい。

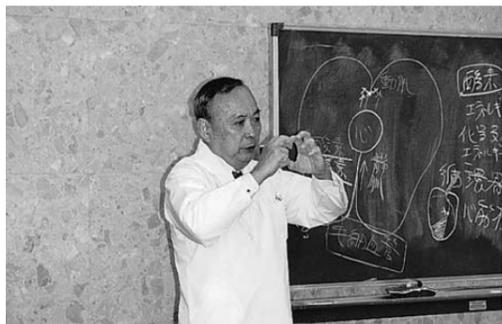
(文責/大学・児童学科 助教授 古相 正美)

■ 管理栄養士を目指して

卒業生対象
国家試験受験準備講習会開催

昨年末、管理栄養士の国家試験受験準備講習会が本学で実施された。

本学短期大学部・食物栄養科卒業生を対象に行われたもので、十一月～十二月の毎週土曜日(全六回)、国家試験十三科目について



「病理学」の講義(山元 寅男 学長)

管理栄養士の資格取得によって、より高度な知識や技術を発揮していくことができる。この講習会は毎年開かれており、今年約四十名の卒業生が参加、熱心に受講していた。

元気なサークル

(23)

社会福祉部



顧問: 松尾 智則
部長: 吉田 美由起
活動日: 木曜日
部員数: 35名

私たち短大部社会福祉部は、月に2・3回ボランティア活動をしています。主な活動としては、第2・第4土曜日に本校のグラウンド、体育館で行われているスペシャルオリンピックのコーチとして、障害を持っている子どもたちと一緒にスポーツを楽しんでいます。その他、児童養護施設に行ったり、障害児と健常児とが共に過ごす「ふれあいキャンプ」に参加したり、バザーでの「子どもコーナー」を担当させていただいたり、とても幅広く活動をしています。

活動の幅が広い分、多くの人との出会いがあります。同じ想いでボランティア活動をしている人たちとの出会いや、障害を持った子どもたち、子どもたちを温かい目で見守る保護者の方、地域の方、本当にたくさんの人との出会いがあります。

また、私たちのサークルは、幼児教育科、児童学科の人が多いのが特徴的です。保育者や教育者を目指している人にとって、机上だけの勉強だけでは学べないことも多いと思います。

実際、子どもたちと接することができるので、子どもたちから学ぶこともたくさんあります。

ボランティアに興味がある人も、いろんな人との出会いを大切にしたい人も、是非一度、参加してみてください。



セロリ「CELERY」は、野菜の中でも最も古い歴史を持ち、ギリシャ文学の初頭を飾る2大叙事詩のひとつ「オデュッセイ」の中にセリオンの名で見られます。本学では、校章にもセロリを図案化しており、本広報誌の名称にも採用しています。



セロリ 第35号 2000年3月17日発行

編集：中村学園大学 中村学園大学短期大学部 入試課

〒814-0198福岡市城南区別府5-7-1

TEL 092-851-2531 FAX 092-851-2539(直通)

〔ホームページアドレス〕 <http://www.nakamura-u.ac.jp/>